

【お悩み2】どんな内容をやるといい？

「お茶を飲みお話をすることで息抜きになっている様子だが、何かやった方がよいか」
「内容がマンネリ化してきた。ネタが尽きてしまった感がある。」

【皆さんからの意見】

○取り組んでいる内容

(地域の力の協力)

- ・ハーモニカが得意な方が童謡や懐かしい昔の歌謡曲を吹いてくれる
- ・地域のグループが特技披露（琴、アコーディオン）
- ・保育園との3世代交流。歌やゲームは園企画し、居場所参加者とクラフトづくり。

(出前講座の活用)

- ・薬局：体組成計や体力測定、骨密度測定
- ・警察：交通安全
- ・包括：施設や介護保険について
- ・その他：救命救急、詐欺、地震など

(運営者主催の内容)

- ・体操（ほの国体操）
- ・クラフト（少し手伝えれば出来るもの。達成感が生まれるので完成することが大切。完成品を持ち帰り家族に見せることも。）
- ・映画上映（樹木希林がなくなった時には「あん」を上映）
- ・70歳以上の免許更新時の認知機能検査（イラストを覚える検査）
- ・子どもと高齢者輪投げの競争
- ・脳トレ、回想法
- ・介護者の相談

(飲食)

- ・みんなで昼食を食べる
- ・お茶とコーヒー（インスタントではなく、ドリップや急須でいれている）

○内容の検討

- ・各スタッフが、次は何をするか、材料集め・ヒントを見つけるよう心掛けている
- ・コアメンバーで次回何をするか決めている。
- ・活動内容やテーマは参加者にアンケートを取って実施
- ・季節にあったもの
- ・3月に次年度の計画作成

○内容についての考え方

- ・必ずしもテーマは決めず、おしゃべりすることも。負担にならないようにしている。
- ・認知症の本人と地域の方との交流。正しく知っていただくきっかけになっている
- ・家族と利用者を分けずに話をしてもらっている。家族の気づきにもつながっている。

【課題】

楽しい内容が難しい。特に男性はどうなのかが気になる。

⇒男性向けにオセロや将棋などもしてきたが、意外と将棋をする人は少ない。男性も意外と作る事は好き。器用な人も多く、出来上がった作品を喜ばれている。